



《理事長のコーナー&プレゼン最前線 2019年8月号》

2019年8月15日

高野 文夫 NPO日本プレゼンテーション協会理事長

## AI ロボット時代は感性力勝負

この秋先にこの表題の本を出版しますが、それに先立ってこの月間誌でその内容の一旦をお伝えしたいと思います。



### 【はじめに】

最近、今まで人の直感に頼っていた領域を人工頭脳によってモデル化し、合理的に意思決定するようになっていきます。本書ではそのさらに先を行きます。

論理だけで突き進んだ先には、だれでもが到達してしまった平凡な換骨奪胎された骨だらけの喰えないものに行き着くのが関の山です。

本書では個々人のなんだかうまく説明できないインスピレーションと論理的思考とを行き来することによって、スピーディーにオリジナリティーのあるものを創造する方法が解き明かされています。

より分かりやすく言えば、「第六感」を効かせるコツを解き明かしています。とい



《理事長のコーナー&プレゼン最前線 2019年8月号》

うのは、世の中の多くの人が、「自分の中にある閃きや、直感を上手に表現したり、論理的に人に伝えられるようになりたい」と切実に願っていることは間違いないからです。

これからの時代、ビジネスは元より普段の生活でも「感性力」はとても大切な要素だと思います。

先に触れました通り、このインターネット全盛期にあっては、知識や情報、技術、そういうことでは差異がなくなっていると思えるのです。

そうなったとき、「違い」を出すのは「感性」なんです。だからこそ、感性を大切にすることです

人と接していると、「思いやりのある人だな」と感心したり、反対に「どうしてあんな言い方しかできないんだろ。配慮に欠けているんじゃない。」ということってありますよね。

人の思いが感じ取れる人は、誰ともうまくやっています。人の思いをはじめとして、さまざまなことを感じ取り、読み取る力があるでしょうか？ そうした力を養えるように、日々暮らしていくことが大切だと思うんです。

お客様の心理を感じ取る。人々の心を感じ取る、そして時代の流れを感じ取る。あらゆる場面で、そういう「感性」が大事になってくる。そして感性はそれぞれちがうからそれが独自の価値になっていくのです。

人はそれぞれですから、  
「感性なんてそんなこと言っている歳じゃないから・・・」  
「オレは美的センスがないから・・・」  
「感性なんていまさら・・・」そういう人もいます。でも大丈夫です。

感性というのは、何歳からでも、どこでも、誰でも磨くことができるのです。そして感性というのは、いかに物事を深く考え、深く見ることができるかということなのです。

デジタル化が進み、IT やロボットの時代になりました。そして「情報」は誰で



《理事長のコーナー&プレゼン最前線 2019年8月号》

も簡単に手にいれることができるようになりました。

しかし情報がいつでもどこでも手に入るという状況は、人々が「深く考える」ということを阻害しています。薄っぺらな人間を増産してるとも言えます。

情報はインターネット上にあって、いつでも取り出せるという安心感から、あまり深く考えなくなったと言えましょう。

だから今こそ深く思考すること、深く見ることが、他とはちがう価値を生み出すのです。実はそれが「感性」だと思うんです。これからの時代の重要な差別化ポイントになるのです。

これからの時代を生き抜くために、感性を磨くことが最も大切です。感性を磨くためには、以下の3つのステップを意識することです。

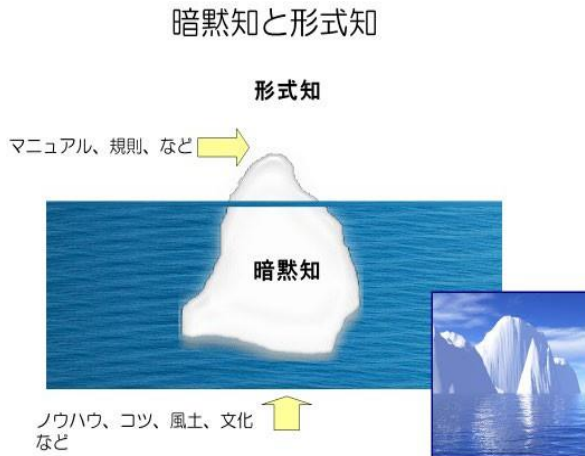
- 1、情報をたくさん収集する → 勉強する
- 2、収集した情報を編集する → 考える・組み合わせる
- 3、編集した情報を拡散・発信する → 発信する

これを意図的に繰り返していると、自ずと発信力が高まってゆきます。そして、その感性を磨いていくために、この1、2、3を意図的にやっていくことが大切なのです。

## 1、情報をたくさん収集する

これは当たり前のことです。自分に、あるいは自分の仕事に必要な情報をたくさん収集することが大切です。今、情報は簡単に収集できるようになりました。

ネットを利用すれば、ある意味かなりの情報が手に入るようになりました。インターネットの百科事典に Wikipedia がありますよね。大企業では、あれをそのまま使ったら怒られるそうです。なぜかというと、何の権威もない、みんながただ書き込んでいる情報にすぎないのです。



出展: ㈱資産工学研究所

そうなんです！裏を取らないといけないんですよね。

世界で一番有名な世界最高の百科事典『ブリタニカ』ってありますよね。世界的な権威の科学者が書く百科事典にも、やはり間違いはあります。

その間違いのパーセンテージと、Wikipedia の間違いのパーセンテージは、同じなんだそうです。約 4%くらいだそうです。

ブリタニカ百科事典と同じくらいの間違いの率ですから、結構正確だったりするわけです。

そして、情報収集には、「目的意識」がとっても大切です。目的を持っていると、まさに「引き寄せの法則の如く」情報のほうが、あなたのところにやってくるのです。

## 2、収集した情報を編集する

次のステップは、収集した情報を自分のフィルターで編集できるかどうかにかかっています。これがとっても重要です。

それにはビジネス以外のデータベースの質と量が大切になってきます。冰山の一角という言葉がありますが、冰山は水面に見えているのはほんの少し（10%と言われていています）、水中には膨大な塊があるのです。水中の部分の量と質が大事なんです。

この部分（90%と言われていています）が真のデータベースということです。

電子書籍でも紙の本でも、小説とかなんでも書き物を読むと編集力 UP に役立ちます。だから、ビジネス以外のことを積極的にやることはすごく大切だと思います。



《理事長のコーナー&プレゼン最前線 2019年8月号》

ます。そして、好きなこと、趣味をやることです。

スポーツが好きな人は、そのスポーツをやることです。どんどんやっていくことによって、感性に必要な編集能力は高まってゆくのですね。

私はスポーツは元より、空手や太極拳ですが、伝統武道を40年以上続けています。それが私の感性力の涵養にどれだけ役立っているか計り知れないものがあります。

今の時代、誰でも皆情報を収集することはできる。だから何が価値になるかという、この編集能力です。オリジナルの編集能力、皆さんのフィルターをいかに通していくか。それがすごく重要だと思うんです。

これからの世の中に、オリジナルなものなど生まれません。ものすごく画期的な発明など、天才にはできるかもしれないけれど、ボクらは皆普通の人ですからね。

画期的な発明などはできません。でも、大したことない人がすごいことをやるんです。超天才ではないですから、オリジナルなものなどなかなか作れません。からこそ、集めてきたいろいろなものを編集する能力が大切です。そして編集というのは、誰でもできるんです。

あなたのフィルターを通して編集することです。そして、価値を伝えること。編集したものは独自の価値になって、伝わりやすくなります。

### 3、編集した情報を拡散・発信する

なるべくわかりやすく表現することが大切です。発信の機会は……

- 出版、講演、プレゼン、演説、企画書など
- SNS（ソーシャルメディア）、ブログ、ウェブサイト、メルマガなど
- 人に話す（飲み屋での雑談、奥さんと子ども、恋人や友人との会話など）

こういうふうに、ともかくアウトプットすることです。

私はこのすべてをやっています。自分の中で編集したものをそのままにしておくだけではもったいないです。



《理事長のコーナー&プレゼン最前線 2019年8月号》

アウトプット、外に出してみるといい。

アウトプットすればするほど、さまざまな成果が表れるのです。

SNS（ソーシャルメディア）の誕生で、ボクたち個人でもカンタンに発信するツールが持てる時代です。そしてブログや Twitter、Facebook、YouTube、Instagram などの SNS は無料で利用できます。メールアドレスさえあれば、数分で設定できます。

そして、もっと簡単なのは、飲み屋での雑談なんですよ。そのためには気心の知れた友人の存在が重要なんです。

「俺さ、こう思うんだけど、おまえ、あなたはと思う？」

いろいろな形で発信することはすごく大切です。そうすると新しい視点がやってきます。わかってくることも増えてきます。老若男女広く付き合う事をお勧めします。

そして発信することで、人に解説することでそれが深まったり、さらに発見があったり、その論の弱点が見つかったり。発信することによって、あなたの新しい世界が広がっていきます。

出版とか講演や企画書というのは、ある程度準備しなければならないから大変です。書かなければいけないし、練習しなければいけないし、いろいろな準備が必要ですけど、ブログや You Tube はすぐにできます。

現代は、すぐにできることがたくさんありますから、とにかくアウトプットしてみましょう。

以上3つのステップを意識して行動するだけで、あなたの「感性」は磨かれていきます。いつまでも不毛などぐりの背比べをするのはやめましょう。

それがあなたの個性を磨き、自ずと差別化されたあなた自身が練りあがるのです。鍛え抜かれた日本刀、しかも名刀になるのです。

おわり

次は2019年9月15日号になります。